

事務局業務※イメージ図

SCSC

趣旨に賛同した多様な主体がコンソーシアムを組みアスリートをサポート

総会

★加盟団体：151団体★※令和8年2月末時点

★ACC：1,007名★※令和8年2月末時点

運営委員会
SCSC意思決定機関

企画提案



執行指示

事務局

会務執行（各プロジェクトの企画・マネジメント）

スポーツ庁

(5) 定例会開催
～ (8) 事業報告書作成
※スポーツ庁と調整の上実施

(1)
総会 / 運営委員会
実施

(2)
会員団体の拡大・
連携の推進

(4)
情報発信
コンテンツの充実

(3) プロジェクト推進

①アスリートキャリアコー
ディネーター（ACC）の
育成・活躍機会の検討
a)ACCの実務能力向上に
向けた取組
b)ACC資格の更新
c)ACCの新規育成

②アスリートに対する
キャリア支援に関する
ケーススタディの実施
a)ケーススタディ実施に使用する
ベストテキストの更新・作成
b)ケーススタディ実施

③会員団体の協働による
自発的な発案に基づく
プロジェクトの実施

相談

支援

アスリート

スポーツ団体等※

アスリート雇用企業等※

※加盟団体を優先する

モデルスケジュール※下記はあくまでモデルである。事業企画に合わせ、下記に示すものよりも詳細なマイルストーンを置いた上で提案すること。

月	(5) スポーツ庁定例会	(1) 総会・運営委員会	(2) 会員団体の拡大・連携	(3) プロジェクト推進										(4) 情報コンテンツの充実		(6) 今後の検討	
				①			②				③			① HP	② SNS		
				a		b		c		a		b					
				勉強会	相談窓口等活躍場所の創出	資格更新会議(仮)	更新	養成研修企画会議(仮)	新規養成	アドバンス	バラ	ベストプラクティス企画会議(仮)	ケーススタディ実施				プロジェクト実施
5月	KICK OFF	入選・依頼															
6月	第2回	総会① 第一回				会議人選		会議人選				会議人選					
	第3回																
7月	第4回	第二回	新規会員 勧誘	相談窓口再開・企画実施	人選承認		人選承認					人選承認	実施団体選定・実施	募集・実施	再開・新規内容追加等	PR	
	第5回				議論・プログラム等作成開始		議論・プログラム等作成開始					bを踏まえた検討会					
8月	第6回																
	第7回																各種実施を踏まえた検討
9月	第8回																
	第9回	第三回	実施項目確定		完成		完成		募集開始								
10月	第10回		実施					受講者決定									
	第11回							実施									
11月	第12回																
	第13回	第四回															
12月	第14回								実施								
	第15回																
1月	第16回						更新検討										
	第17回	第五回															
2月	第18回								新規認定 実施								
	第19回	総会②															
3月	第20回																

事業成果報告書・引継ぎ書提出

スポーツキャリアサポートコンソーシアム会則

平成 29 年 11 月 20 日
平成 30 年 9 月 25 日一部改正
平成 31 年 2 月 18 日一部改正
令和 2 年 7 月 22 日一部改正
令和 3 年 3 月 11 日一部改正
令和 3 年 7 月 16 日一部改正
令和 3 年 10 月 1 日一部改正

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 このコンソーシアムは、スポーツキャリアサポートコンソーシアム（以下「本会」という。）と称する。その英文表記は Japan Sport Career Support Consortium と表示する。

(事務所)

第 2 条 本会は、主たる事務所を第 3 7 条に定める事務局内に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 本会は、関連団体が連携し、第 4 条に定めるアスリートがスポーツキャリア及びライフキャリアを両立させるためのシステムを構築するとともに支援を提供することを目的とする。

(対象範囲)

第 4 条 本会が行う事業は、ハイパフォーマンススポーツにおけるエクセレンス（卓越性）^注を目指すアスリート及びハイパフォーマンススポーツで活躍しているアスリート等を対象とする。各事業における支援対象は別途定める。

注） オリンピズムの 3 つの価値「卓越(Excellence)」、「友情(Friendship)」、「尊敬(Respect)」に含まれる。

(事業)

第 5 条 本会は、第 3 条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 一 スポーツキャリアに関係する社会、資源、組織間、他分野間等の連結による課題の抽出と解決策の検討・提案
- 二 スポーツキャリアに関係する人材の育成・活用と市場の拡大及び還流の促進
- 三 スポーツキャリアに関する意識啓発と行動変容の促進
- 四 スポーツキャリアサポートに関する新規プログラムの開発
- 五 スポーツキャリアサポートに係る取組の高度化に関する支援
- 六 スポーツキャリアに関する情報収集や調査研究
- 七 スポーツキャリアサポートに関する会議等の開催
- 八 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第 3 章 会員

(コンソーシアムの構成員)

第 6 条 本会は、本会の目的に賛同し、スポーツキャリアに関する取組に積極的に関わることができる法人又はそれに準じる組織、もしくは個人を会員とする。

- 2 本会が認めた研修等を修了し、アスリートキャリアコーディネーターとして認定を受け入

会を希望する個人をACC会員とする。

(会員資格)

第7条 会員になろうとする者は、次の各号に定める全ての事項に該当しなければならない。

- 一 本会の目的に賛同すること。
- 二 法人又は個人
- 三 スポーツキャリアに関する取組に積極的に関わることができること。
- 四 反社会的勢力との関係を有していないこと。また、役員等にこれに該当する者がいないこと。
- 五 過去3年以内に法令等に違反して処分された者でないこと。また、役員等にこれに該当する者がいないこと。

(入会)

第8条 会員になろうとする者は、別に定める入会申込書及び誓約書を会長に提出し、運営委員会の承認を受けなければならない。

- 2 運営委員会は、会員になろうとする者に対し、前項に定めるもののほか必要と認める資料等の提出等を求めることができる。

(会員の義務)

第9条 会員は、事務局の要請に応じて、団体の保有資源等の最新情報を届け出なければならない。

- 2 会員は、住所等登録内容に変更が生じた場合は、速やかに本会に届け出なければならない。
- 3 会員は、本会が作成・発信する情報に関して、適切な方法をもって管理しなければならない。なお、情報の取扱いに関し必要な事項は別途定める。
- 4 会員は、本会の活動に関連して知り得た秘密情報を会員以外の第三者に開示もしくは漏洩し、または本会の活動以外の目的に使用してはならない。

(資格の喪失及び停止)

第10条 会員は、次の事由によってその資格を喪失する。

- 一 退会したとき。
- 二 会員である団体が解散したとき。
- 三 除名されたとき。

(退会)

第11条 会員が退会しようとするときは、理由を付して、所定の退会届を会長に提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第12条 会員が次の各号の一に該当するときは、運営委員会の決議により除名することができる。

- 一 本会の会員としての義務に違反したとき。
- 二 本会の名誉を傷つけ、又は本会の目的に違反する行為があったとき。
- 三 その他、除名すべき正当な事由があるとき。

第4章 機関

第13条 本会に次の機関を置く。

- 一 スポーツキャリアサポートコンソーシアム総会（以下「総会」という。）

二 スポーツキャリアサポートコンソーシアム運営委員会（以下「運営委員会」という。）

第5章 総会

（構成）

第14条 総会は、第6条に定める会員をもって構成する。

（権限）

第15条 総会は、次の事項について決議する。

- 一 運営委員の選任又は解任
- 二 事業方針の承認
- 三 その他、本会の運営に関する事項

（開催）

第16条 総会は、毎年一回開催する。また、必要に応じて臨時総会を開催することができる。

（招集）

第17条 総会は、会長が招集する。

- 2 総会を招集するには、会長は、総会の日前までに、当該総会の目的である事項、日時、場所その他の事項を書面により通知しなければならない。

（議長）

第18条 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

（議決権）

第19条 総会における議決権は、会員につき1個とする。

- 2 ACC会員は議決権を有しない。

（書面等による議決権の行使）

第20条 総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について、書面もしくは電磁的方法により議決し、又は議決権の行使を議長又はその他の会員に委任することができる。

- 2 前項の規定により議決権を行使した会員は、総会に出席したものとみなす。

（決議）

第21条 総会は、会員の過半数の出席をもって成立するものとし、決議は出席した当該会員の過半数をもって行う。

（議事録）

第22条 総会の議事については、議事録を作成する。

2 前項の議事録は、出席した運営委員全員の確認を経て、議長の承認を得なければならない。

第6章 役員

（役員）

第23条 本会に次の役員を置く。

- 一 会長 1名
- 二 副会長 複数名
- 三 運営委員 複数名

(役員を選任)

第24条 運営委員は、総会の決議によって、会員の中から選任する。ただし、会員以外にも会の運営に必要な学識経験者を運営委員として選任することができる。

2 会長、副会長は、運営委員の中から、運営委員会の決議により選任する。

(役員職務及び権限)

第25条 会長は、本会を代表し、その職務を執行する。

2 副会長は、会長を補佐し、本会の業務を分担執行する。

3 運営委員は、本会の業務を分担執行する。

(役員任期)

第26条 運営委員の任期は、総会による選任の後、翌年度の総会の終結の時までとし、その再任は妨げない。

2 補欠または増員により選任された運営委員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。

(役員報酬)

第27条 役員は、無報酬とする。ただし、その職務執行の対価として、報酬等を支払うことができる。

第7章 運営委員会

(構成)

第28条 運営委員会は本会の意思決定機関とし、運営委員をもって構成する。

(権限)

第29条 運営委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- 一 会員の入会及び除名
- 二 会長、副会長の選任及び解任
- 三 会則の改廃及び関係諸規程の制定・改廃
- 四 本会の事業計画及び事業報告に関する事項
- 五 本会の業務執行の決定
- 六 プロジェクトの組織化及び運営
- 七 その他、本会の運営に関する事項

(招集及び議長)

第30条 運営委員会は会長が招集し、議長を務める。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が、会長の予め指名した順序により運営委員会を招集し、議長を務めることとする。

(書面等による議決権の行使)

第31条 運営委員が運営委員会に出席できない場合、会員の役員会あるいは然るべき機関の決議によって任命された者が代理委員として、その議決権を行使することができる。その場合、所定の手続きにより事前に事務局に申し出る必要がある。なお、代理委員の議決権は当該1回限りとする。

2 前項によるもののほか、運営委員会に出席できない運営委員は、あらかじめ通知された事項について、書面もしくは電磁的方法により議決し、又は議決権の行使を議長もしくは他の運営委員に委任することができる。

3 前項の規定により議決権を行使した運営委員は、運営委員会に出席したものとみなす。

(決議)

第32条 運営委員会は、運営委員の過半数の出席をもって成立するものとし、決議は出席した当該委員の過半数をもって行う。

(委員会の省略)

第33条 会長が必要と認めた場合は、書面により運営委員会を開催することができる。その場合、運営委員は書面もしくは電磁的記録により意思表示をするものとする。

2 前項の場合において、決議は前条の規定を準用する。

(議事録)

第34条 運営委員会の議事については、議事録を作成する。

2 前項の議事録は、出席した運営委員全員の確認を経て、議長の承認を得なければならない。

(雑則)

第35条 その他、運営委員会の運営に関し必要な事項は別途定める。

第8章 プロジェクト

(プロジェクト)

第36条 本会の事業遂行に必要な専門事項を処理するため、解決すべき課題ごとにプロジェクトを置くことができる。

2 プロジェクトは、課題解決に必要な専門性を有する会員から構成される。

3 プロジェクトの組織及び運営に関する事項は運営委員会で定める。

第9章 事務局

(事務局)

第37条 本会は、その事務を処理するため事務局を設け、事務局長1名及び所要の職員を置く。

2 事務局長は、職員を指揮して会務を処理する。

3 前各号に定めるもののほか、事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、運営委員会で定める。

第10章 会則の変更

(会則の変更)

第38条 この会則は、運営委員会の決議によって変更することができる。

附 則

1 この会則は令和3年10月1日に下記規程を付属し、改定実施する。

- ・ 寄附金等取扱規程

2020年9月18日承認

スポーツキャリアサポートコンソーシアム諸謝金基準単価表

スポーツキャリアサポートコンソーシアムの事業の運営にあたって、以下で定める諸謝金基準単価（以下「基準単価」という。）を基準として採用する。

本基準は、これまでのスポーツキャリアサポートコンソーシアム事業の実績とスポーツ庁の定める基準単価表を参照し採用している。金額は、市況の変化に応じて運営委員会で適宜検討することができるものとし、国費事業として合理的な単価を設定することに努めるものとする。

以下の区分以外での謝金支払いが発生した場合、適宜、採用する金額を決定するものとする。

諸謝金基準単価

区 分	単 位	金 額 (円)	備 考
運営委員会 出席謝金*	回	10,000円	実働2時間未満
プロジェクト推進委員会 出席謝金	回	7,000円	実働2時間未満
広報委員会 出席謝金	回	7,000円	実働2時間未満
指導・助言謝金（教授・准教授、技術者（専門職）、JOC・NF役員の場合）*	時間	10,000円	※1
作業補助等労務謝金**	時間	1,070円	会場整理など ※2

※1 時間単価を適用する場合の支払い単位は1時間とし、端数については30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げとすること。ただし、全体で30分未満の場合は1時間とみなす。

※2 実働時間分のみで算出し、切上処理不可。小数点第2位以下切り捨て。

例) 1時間15分勤務した場合 1.25時間の小数第2位を切り捨てし1.2時間として計算する。
よって 1.2（時間）×1,070円=1,284円

*令和元年度までのスポーツキャリアサポートコンソーシアム事業の実績に準ずる

**スポーツ庁謝金基準単価に準ずる

別添 5：令和 7 年度実施費用

(3) ①関係

(a) ACC セミナー費用

(勉強会)

- ・講師謝金（講師人数 1 名あたり） 40,000 円
- ・会場費 事務局受託会社会議室使用のため費用なし

(パラアスリートへの理解醸成講習)

- ・プログラム構成費用 200,000 円
- ・講師謝金（講師人数 1 名あたり） 40,000 円
- ・会場費 事務局受託会社会議室使用及び Web 開催のため費用なし

(c) ACC 新規養成費用（ベーシック、アドバンスド）

- ・講師謝金（講師人数 1 名あたり） 40,000 円
- ・プログラム構成費用（事前課題利用費、最終課題採点含む） 968,000 円
- ・講師補助者（キャリアカウンセリング協会）費用 1,065,000 円
- ・会場費 事務局受託会社会議室使用及び Web 開催のため費用なし

(3) ②関係

(b) ケーススタディ実施（1 回あたり）

- ・講師（登壇者） 40,000 円
- ・旅費 発生する場合都度
- ・当日 ACC 補助員謝金 10,000 円 ※ロードマップ完成まで含む
- ・プログラム構成 10,000 円
(ベース資料を先方要望に合わせて加工する場合のみ講師に支払。)
- ・事前打ち合わせ 10,000 円/回



大学1、2年生
競技混在、選手以外の
運営学生スタッフも一部含まれている想定で作成

- ★休憩込みで120分
(念のため、150分を確保)
- ★ワーク時間は仮置きです。

仮) アスリートキャリアビジョン ワークショップ ～自分のこれからを描こう!～

2025. * . * * *

* * * * *

×

スポーツキャリアサポートコンソーシアム

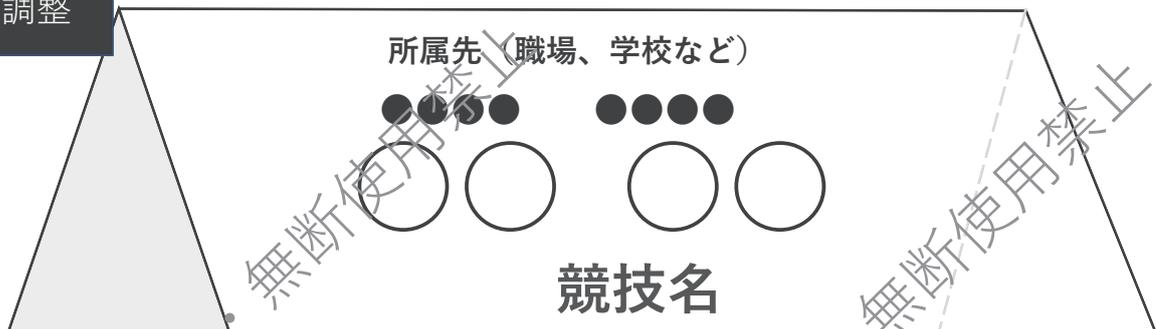
① 指定された席に着席

② 机の上にある白紙を三つ折りにし ネームプレートを作成

「学部学科、氏名、ふりがな、競技※」

※プレイヤーではない人は、関わっている競技、分野、役割を記入
得意な人は、絵とか書いてもok!

対象によって
項目は調整



今日の進行役



〇〇〇〇年～ (株) ●●

〇〇〇〇年～ (株) ●●

- ◎年間 経営企画
- ◎年間 新事業開発
- ◎年間 人事
- ◎年間 営業

<企業、社会人向け>

人材育成、組織開発のコンサルタント

講師自身の経歴を記入

支援

アルキャリア支援

※スポーツ歴等の共通点など、
親近感、興味を醸成するネタを入れる

〇〇〇〇年～

〇〇〇〇～...

チームビルディング

5分



自己紹介がてら、2点を共有しましょう。

一人が話し終わったら、「よろしく」の拍手を!

対象に応じて
アレンジ

①氏名、取り組んでいる競技

※プレイヤーではない人は、関わっている競技、分野、役割で

② (楽しく自分を出せる共有ネタ)

例) 勝負メシ

はじめに

<現役のみなさんに大事なことをもう一つ>
キャリアについて考えると、
「競技力向上」に繋がる！



今日の目的

- 競技者としてだけでなく、自分らしい、納得できる人生を実現するために必要なことを知る
- ‘デュアルキャリア’を前向きに捉え、行動を始める

参加姿勢

- 自分自身に結びつけ、考える
- 仲間同士で学び合う

5

今日の内容



1. デュアルキャリアとは？
2. 競技で培われる力とは？
3. 今の自分の力は？
4. デュアル成長を目指そう
5. 未来の職業をイメージしてみよう
6. ロードマップを描こう！

6

みんなこんな感じじゃない？

対象に応じて
アレンジ

競技、チーム活動



競技、チーム活動以外

将来のこと

<p>どうすれば、 もっといい成績を 上げられるかなあ</p>	<p>授業の課題大変だ。 時間無いけど、 いつやろう？</p>
<p>プロ選手になりたい 五輪メダル獲りたい！</p>	<p>そういえば、競技 引退した後、どう しよう？</p>

1. デュアルキャリアとは？ 【個人ワーク】

1分



自分の頭の中に占める割合は？
全体を100として、4つの分類に数字を入れてください！

競技、チーム活動

競技、チーム活動以外

今のこと

将来のこと

<p>例) 25</p>	<p>25</p>
<p>別紙「ワークシート①」</p>	
<p>25</p>	<p>25</p>

1. デュアルキャリアとは？ 【グループワーク】

2分



書いた数字を見せ合ってみましょう！

競技、チーム活動

競技、チーム活動以外

今のこと
将来のこと

9

1. デュアルキャリアとは？

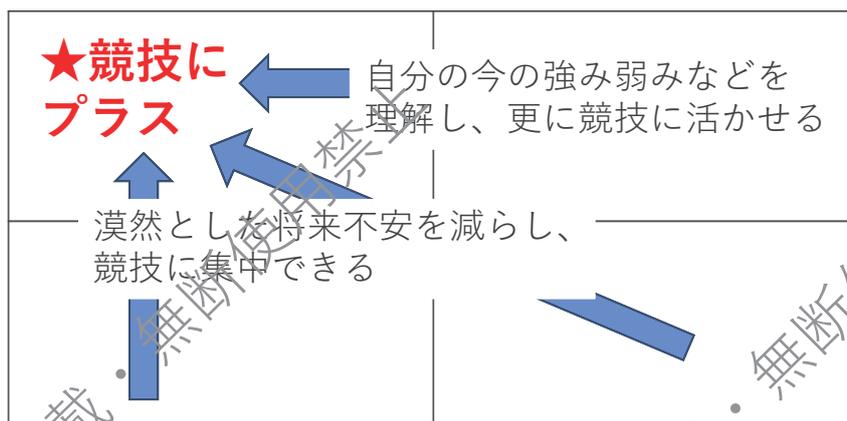


自分らしい、納得のいく人生の実現のためには、4つとも考え、動く必要があります。秘訣は、**進路選択に迫られてからではなく、「早期・普段から少しずつ考え、動く」こと**

競技、チーム活動

競技、チーム活動以外

今のこと
将来のこと



10

1. デュアルキャリアとは？ ～目指したい姿～

スポーツで得たものを
活かした
自分らしい、
納得のいく人生

人としての人生

年齢 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65...

学生
(小、中、高、大)

社会人

引退後の様々な職業、社会生活

好きで
熱中

単なる「両立」ではなく、相乗効果を！
競技を通じて、人として成長する
人としての成長を、競技力向上に繋げる

競技者
としての
人生

アスリート
(競技者)

プロ、実業団で
続ける(職業)

競技で培ったものを
引退後の職業、社会生活に活かす

みなさん

1. デュアルキャリアとは？ ～目指したい姿～

スポーツで得たものを
活かした
自分らしい、
納得のいく人生

人としての人生

年齢 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65...

学生

社会人

引退後の様々な職業、社会生活

好きで
熱中

単なる「両立」ではなく、相乗効果を
競技を通じて、人として成長する
人としての成長を、競技力向上に繋げる

競技者
としての
人生

アスリート
(競技者)

プロ、実業団で
続ける(職業)

競技で培ったものを
引退後の職業、社会生活に活かす

ここまで聞いて、今の気持ちは？



どちらかというと・・・

【ポジティブ】

- ・アスリートだからこそそのチャンス!
- ・大変そうだからこそ燃える
- ・何を心掛ければいいのかな？
など

【ネガティブ】

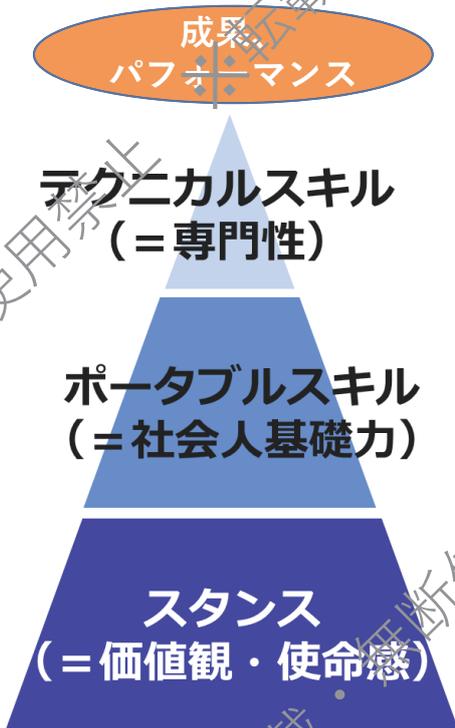
- ・出来るのかなあ？
- ・時間、体力的にそんなに
- ・いつまで競技続けていいか不安
など

今日の内容



1. デュアルキャリアとは？
2. 競技で培われる力とは？
3. 今の自分の力は？
4. デュアル成長を目指そう
5. 未来の職業をイメージしてみよう
6. ロードマップを描こう

2. 競技で培われる力とは？



成果を上げるために必要な選手、スタッフとしてのスキル
 競技に向き合うことで得られる、専門的なスキル
 ※引退後は他分野への応用はできない

競技のみならず、社会人として、他の分野でも応用可能なスキル

競技以外でも活かして、世の中で、活躍、貢献していこう！

2. 競技で培われる力とは？ ～社会人基礎力～

競技のみならず、社会人として、他の分野でも応用可能なスキル



リテラシー
(考える力)

コンピテンシー
(行動する力)

- 情報収集力 「集める」
- 情報分析力 「読み取る」
- 課題発見力 「見つける」
- 構想力 「計画する」

- 親和力 「親しみやすさ」
- 協働力 「チームワーク」
- 統率力 「仕切り」
- 感情制御力 「フラット」
- 自信創出力 「前向き」
- 行動持続力 「粘り強い」
- 課題発見力 「追求」
- 計画立案力 「殺取り」
- 実践力 「有言実行」

PROG：社会人基礎力を測れるアセスメントテストの項目 (株)リアセックHPより

2. 競技で培われる力とは？ ～社会人基礎力～

「リテラシー(考える力)」は分かりにくいかもしれませんが、こんな場面ありますよね？

競技という「世界」の中で、徹底的に実践している！

【目標】 **大会で優勝する!

リテラシー
(考える力)

情報収集 「集める」

予想されるライバル、最近の成績など

情報分析 「読み取る」

様々な角度から自分と比較する

課題発見 「見つける」

目標と今のギャップを埋めるためのポイントを発見

構想 「計画する」

競技練習、補強、栄養、メンタル、ヒーリング…

17

今日の内容

1. デュアルキャリアとは？

2. 競技で培われる力とは？

3. 今の自分の力は？

4. デュアル成長を目指そう

5. 未来の職業をイメージしてみよう

6. ロードマップを描こう

18

まず、ここを探ってみよう！

競技、チーム活動



競技、チーム活動以外

今のこと 将来のこと	競技、チーム活動 で培われた自分の 強みって？	※転載
	※転載	※転載

3. 今の自分の力は？ ～競技で～ 【個人ワーク】



この2つの資料を手元に準備してください



3. 今の自分の力は？ ～競技で～ 【個人ワーク】

「セルフチェックシート」で印をつけたレベルを転記し、平均を計算する

社会人基礎力 開発状況セルフチェックシート ←自分があてはまるレベルは？→

13種類	情報収集力	1	2	3	4	5
	情報分析力	1	2	3	4	5
	課題発見力	1	2	3	4	5
	構想力	1	2	3	4	5
	【総合(平均)】	2.0				
	親和力	1	2	3	4	5
	協働力	1	2	3	4	5
	統率力	1	2	3	4	5
	感情制御力	1	2	3	4	5
	自信創出力	1	2	3	4	5
	行動持続力	1	2	3	4	5
	課題発見力	1	2	3	4	5
	計画立案力	1	2	3	4	5
	実践力	1	2	3	4	5
	【総合(平均)】	3.1				

↑内容の説明

【ワークシート②】 「競技」と記入

リテラシー	情報収集力	3
	情報分析力	2
	課題発見力	2
	構想力	1
	【総合(平均)】	2.0
コンピテンシー	親和力	5
	協働力	4
	統率力	2
	感情制御力	5
	自信創出力	3
	行動持続力	3
	課題発見力	2
	計画立案力	2
	実践力	2
	【総合(平均)】	3.1

競技で強い力
その力が伸びたと思われる
●競技での経験、取り組み
(場面を思い出しながら具体的に)

競技で培った力を競技以外でも発揮できている？
その原因、これから競技以外の場面で取りたいことは？

3. 今の自分の力は？ ～競技で～ 【個人ワーク】

ここまでを10分で！

強みを1つ選び、それが培われた競技での経験、取り組みを記入する

	競技	
リテラシー	情報収集力	3
	情報分析力	2
	課題発見力	2
	構想力	1
	【総合(平均)】	2.0
	親和力	5
	協働力	4
	統率力	2
コンピテンシー	感情制御力	5
	自信創出力	3
	行動持続力	3
	課題発見力	2
	計画立案力	2
	実践力	2
	【総合(平均)】	3.1

競技で強い力
その力が伸びたと思われる
●競技での経験、取り組み
(場面を思い出しながら具体的に)

親和力
学生時代より、多様なメンバーの一員となり、とまどうことの方が多かったが、自分の考え方をオープンに受け入れてくれるA先輩に、何故なのかを聞いてみた。「チームとして成長していくためには、色々な考え方、持ち味を取り入れて試してみることが大事だと思う」という言葉に感銘を受け、自分もそういう行動をしてみることにした。すると、自分と違うものに触れるのが、新しい発見のように楽しく感じるようになった。

競技で培った力を競技以外でも発揮できている？
その原因、これから競技以外の場面で取りたいことは？

「ワークシート②」の右側

3. 今の自分の力は？ ～競技で～

【グループワーク】

ワークシートを見せながら、記入したことを共有しよう
 <聴き手> 共感しながら発表を聴き、自分の成長にヒントに！

		競技
リテラシー	情報収集力	3
	情報分析力	2
	課題発見力	2
	構想力	1
	【総合(平均)】	2.0
コミュニケーション	親和力	5
	協働力	4
	統率力	2
	感情制御力	5
	自信創出力	3
	行動持続力	3
	課題発見力	2
	計画立案力	2
実践力	2	
【総合(平均)】	3.1	

競技で強い力

親和力

その力が物ひびくと思われる
競技の経験、取り組み
(場面を思い出しながら具体的に)

小・中・高とあまり変わらないメンバーで競技を続けてきたが、大学になり様々な高校から集まったメンバーの1人になった。最初は、多様な先輩、同僚の中でとまどうことの方が多かったが、自分の考え方をオープンに受け入れてくれるA先輩に、何故なのかを聞いてみた。「チームとして成長していくためには、色々な考え方を、持ち味を取り入れて試してみることが大事だと思う」という言葉に感銘を受け、自分もそういう行動をしてみることにした。すると、自分と違うものに越えられるのが、新しい発見のようで楽しく感じるようになった。

競技で培った力を競技以外でも発揮できている？

その原因、これから競技以外の場面で取り組みたいことは？

「ワークシート②」

次は、ここを探ってみよう！



競技、チーム活動

競技、チーム活動以外

将来の自分

競技、チーム活動
以外での自分は？

3. 今の自分の力は？ ～競技以外で～ 【個人ワーク】

競技以外の場面（学業、日常生活など）を思い浮かべ、チェック

「競技以外」と記入

リテラシー	情報収集力	3
	情報分析力	2
	課題発見力	2
	構想力	1
	【総合(平均)】	2.0
コンピテンシー	親和力	5
	協働力	4
	統率力	2
	感情制御力	5
	自信創出力	3
	行動持続力	3
	課題発見力	2
	計画立案力	2
	実践力	2
【総合(平均)】	3.1	

4項目の平均

9項目の平均

競技で強い力

競技で培った力を競技以外でも発揮できている？

25

3. 今の自分の力とは？ ～競技以外で～ 【個人ワーク】

ここまですら分で！

競技で培った力を、競技以外でも発揮できているか、考えてみよう

	競技	競技以外
リテラシー	情報収集力	2
	情報分析力	2
	課題発見力	2
	構想力	1
	【総合(平均)】	2.0
コンピテンシー	親和力	3
	協働力	2
	統率力	2
	感情制御力	3
	自信創出力	2
	行動持続力	3
	課題発見力	2
	計画立案力	1
	実践力	2
【総合(平均)】	3.1	2.2

その方が伸びたと思われる競技での経験、取り組みを思い出しながら具体的に)

学生時代より、多様なメンバーの一員になった。最初は、多様な先輩、同僚の中でまどうことが多かったが、自分の考え方をオープンに受け入れてくれる先輩に、何故なのかを聞いてみた。「チームとして成長していくためには、色々な考え方、持ち味を取り入れて試してみることが大事だと思う」という言葉に感銘を受け、自分もそういう行動をしてみることにした。すると、自分と違うものに触れるのが、新しい発見のようで楽しく感じるようになった。

競技で培った力を競技以外でも発揮できている？

その原因、これから競技以外の場面で取り組みたいことは？

競技以外では自分の強みと感じているものが、競技以外では発揮できていないものがあり、勿体無いと感じた。具体的には、情報収集力、親和力、協働力、感情制御力、計画立案など

・そもそも、強みを知ることがなかったことが無かった。後から考えた。競技以外で培った力（情報収集力、親和力、協働力）を競技以外でも発揮する。毎日自分から「強み」を振り返り、実践し、実践に活かす。

26

3. 今の自分の力は？ ～競技以外で～ 【グループワーク】

ワークシートを見せながら、記入したことを共有しよう
 <聴き手> ※共感しながら発表を聴き、自分のヒントに！

	競技	競技以外	
リテラシー	情報収集力	3	2
	情報分析力	2	2
	課題発見力	2	2
	構想力	1	1
	【総合(平均)】	2.0	1.8
コンピテンシー	親和力	5	3
	協働力	4	2
	統率力	2	2
	感情制御力	5	3
	自信創出力	3	2
	行動持続力	2	3
	課題発見力	2	2
	計画立案力	2	1
実践力	1	2	
【総合(平均)】	3.1	2.2	

競技で強い力

競技以外で強い力
 ※伸びたと思われる
 競技での経験、取り組み
 (場面を思い出しながら具体的に)

その原因、これから競技以外の
 場面で取り組みたいことは？

競技で培った力を競技以外でも
 発揮できている？

競技以外では自分の強みと感じている
 ものが、競技以外では発揮できていない
 ものがあり、勿体無いと感じた。
 具体的には、情報収集力、親和力、協
 働力、感情制御力、計画立案など

・そもそも、強みを知らなかった
 ・競技以外にも使える、使おうと
 思わなかった
 ↓
 競技以外で働いている人との関わり
 方を変え、親和力を発揮し、毎日百
 分からちょっとした雑談でも、気軽に
 話せる人を探そう

3. 今の自分の力は？ ～競技以外でも発揮しよう！～

例) 親和力

競技、チーム活動

競技、チーム活動以外

「親和力」を発揮し、
強い人間関係を築いている

★反面、競技内に偏りがち

競技外でも同じように、
 多様な人と関係を作ろう

「現役の名刺」を持つ今こそチャンスが多い

多様な人と交流から受ける刺激、
 気づきは、成長のキッカケになる

特に、進路を検討する時に**大きな財産**になる

将来のこと

今日の内容

1. デュアルキャリアとは？
2. 競技で培われる力とは？
3. 今の自分の力は？
4. デュアル成長を目指そう
5. 未来の職業をイメージしてみよう
6. ロードマップを描こう

29

4. デュアル成長を目指そう

単なる両立では勿体無い。
相乗効果を生み出し、二つの成長を同時に！
= **「デュアル成長」**

競技者、競技に
関わるスタッフ
としての成長

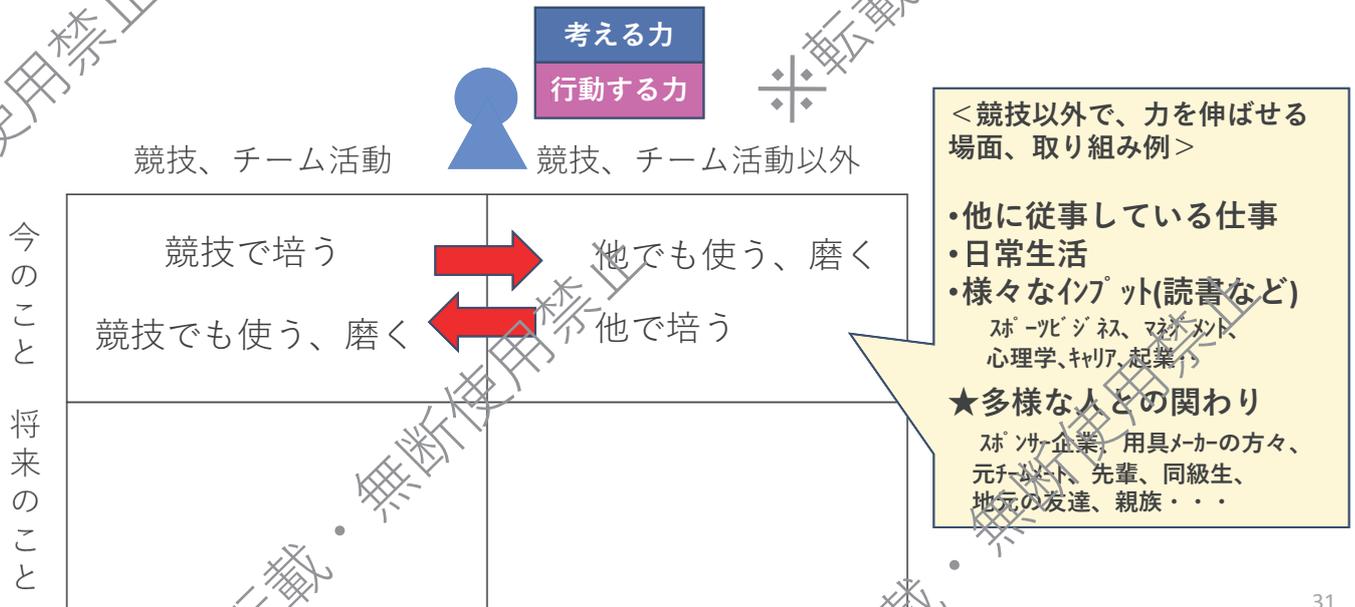


人として
の成長

30

4. デュアル成長を目指そう ～相乗効果を生み出そう！～

先ほどのワークでは、競技→競技以外（他の仕事など）について考えた。その逆も意識すると、相乗効果が生まれて、基礎力の伸びが加速する



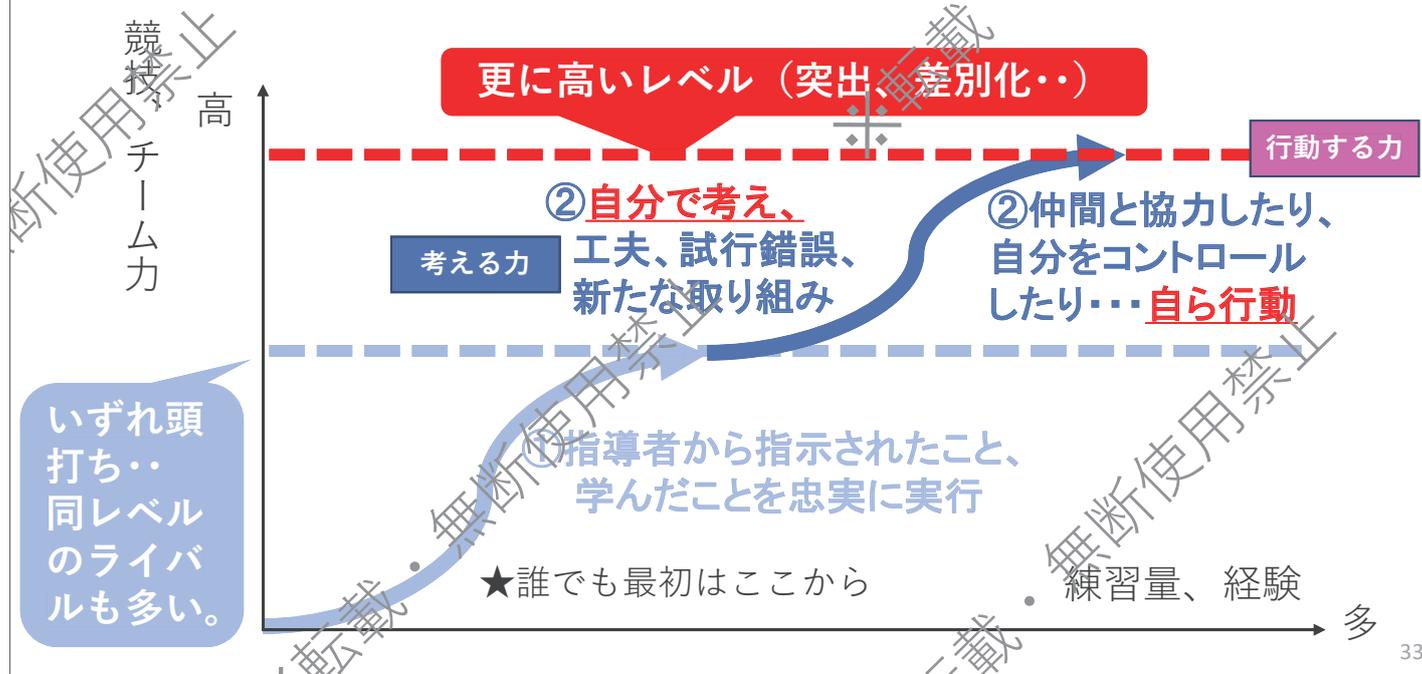
4. デュアル成長を目指そう ～アスリートの傾向は？～

同年代と比較した、アスリートの傾向は？ ★個人差あり



4. デュアル成長を目指そう ～競技力アップに繋げよう～

更に高いレベルを目指すためには、考える力、行動する力を磨き、競技に活かすことが不可欠



ここまで聞いて、

・何が新しいことやらないとイヤなの？

・今でも忙しくて大変なのに...

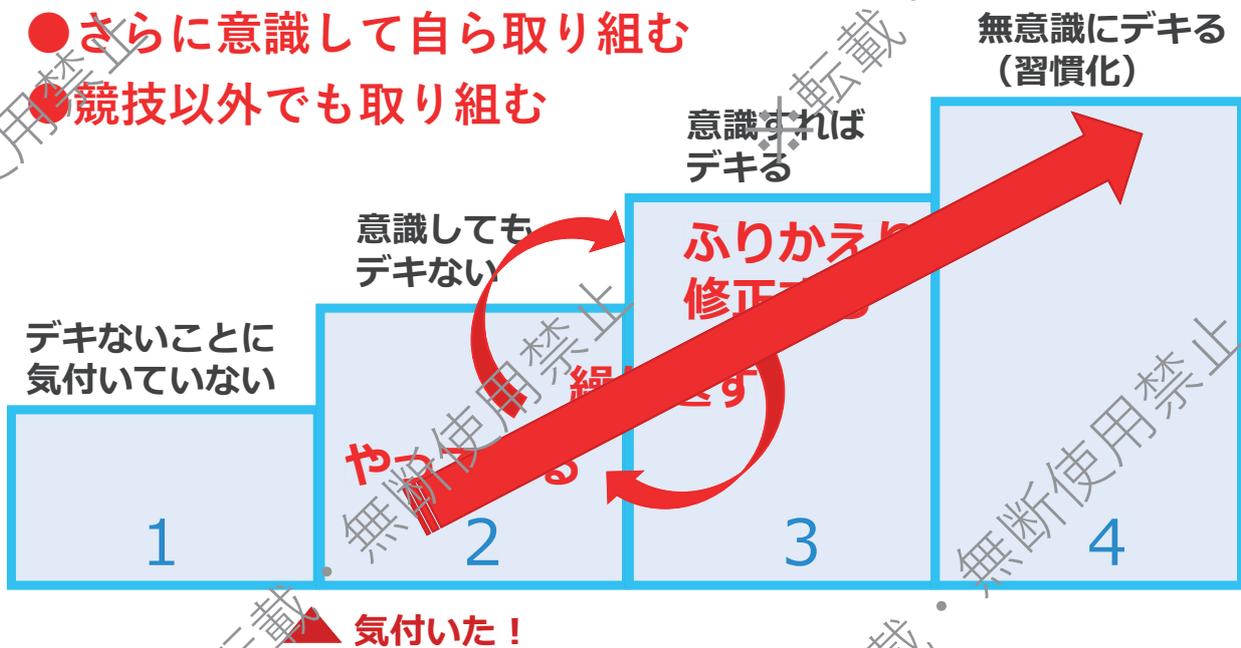
重い気持ちになった人が多いのでは？

大丈夫です！

4. デュアル成長を目指そう ～どう伸ばす？～

みなさんは、競技、チーム活動でやっている。
これからは、

- さらに意識して自ら取り組む
- 競技以外でも取り組む



35

今日の内容

1. デュアルキャリアとは？
2. 競技で培われる力とは？
3. 今の自分の力は？
4. デュアル成長を目指そう
5. 未来の職業をイメージしてみよう
6. ロードマップを描こう！

36

次は？



競技、チーム活動

競技、チーム活動以外

将来の不安が無く、
競技に打ち込むこと
ができる！



将来のこと

プロ等で
競技を続けたい人は、
是非実現しよう！

いつか必ず引退する。
競技以外の職業につい
ても、今から、少しづ
つ先回りして考える



<次に出来ること>

身近にあるものだけではなく、

視野を広げて、

様々な仕事を調べてみる。

5. 未来の職業をイメージしよう

「ワークシート④」

< 競技者以外の職業例 >

	アスリートの周囲にあり、 経験を活かしやすい	新しい分野への挑戦
スポーツ 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツチームの運営/経営 ・ スポーツ、パラスポーツ指導者/コーチ（地域クラブ、学校、実業団、プロ、ナショナル、海外） ・ データアナリスト ・ スポーツ団体職員 競技協会、JOC、日体協 ・ 競技に関する研究者 ・ 解説員、講演者 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツチームの運営/経営 ・ 起業（スポーツ関連） ・ NPO（スポーツ関連） ・ ビジネスマン（スポーツ関連業界） ・ スポーツ関連の広告・広報 ・ 地域社会のスポーツ指導 など
非スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツドクター ・ リハビリテーション ・ コンディショニングトレーナー など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業（一般ビジネス） ・ 弁護士会計士など士業 ・ ビジネスマン（一般企業） など

39

5. 未来の職業をイメージしよう 【個人ワーク】

4分

< 競技者以外の職業例 >

	アスリートの周囲にあり、 経験を活かしやすい	新しい分野への挑戦
スポーツ 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツチームの運営/経営 ・ スポーツ、パラスポーツ指導者/コーチ（地域クラブ、学校、実業団、プロ、ナショナル、海外） ・ データアナリスト ・ スポーツ団体職員 競技協会、JOC、日体協 ・ 競技に関する研究者 ・ 解説員、講演者 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツチームの運営/経営 ・ 起業（スポーツ関連） ・ NPO（スポーツ関連） ・ ビジネスマン（スポーツ関連業界） ・ スポーツ関連の広告・広報 ・ 地域社会のスポーツ指導 など
非スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツドクター ・ リハビリテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業（一般ビジネス） ・ 弁護士会計士など士業

将来就くとしたら、どんな職業が気になる？
気になる枠、職業名に○印 または、具体名を記入

40

5. 未来の職業をイメージしよう 【グループワーク】

4分

自分が書いたことを共有しよう！

<聴き手> 共感しながら聴き、同じ・違い、他者の観点を味わう

	アスリートの周囲にあり、 経験を活かしやすい	新しい分野への挑戦
スポーツ 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツチームの運営/経営 ・スポーツ、パラスポーツ指導者/コーチ（地域クラブ、学校、実業団、プロ、ナショナル、海外） ・データアナリスト ・スポーツ団体職員 ・競技協会、JOC、J体協 ・競技に関する研究者 ・解説員、講演者 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツチームの運営/経営 ・起業（スポーツ関連） ・NPO（スポーツ関連） ・ビジネスマン（スポーツ関連業界） ・スポーツ関連の広告・広報 ・地域社会のスポーツ指導 など
非スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツドクター ・リハビリテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業（一般ビジネス） ・弁護士会計士など士業

将来就くとしたら、どんな職業が気になる？
気になる枠、職業名に○印 または、具体名を記入

50

41

5. 未来の職業をイメージしよう ～今後の動き方～

時間のあるときに、少しずつ調べてみよう！

- ・ Net等で情報収集
- ・ 仕事をしているご本人に話を聞く
- ・ 体験（見学、ボランティア、インターンシップ）など

	アスリートの周囲にあり、 経験を活かしやすい	新しい分野への挑戦
スポーツ 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツチームの運営/経営 ・スポーツ、パラスポーツ指導者/コーチ（地域クラブ、学校、実業団、プロ、ナショナル、海外） ・データアナリスト ・スポーツ団体職員 ・競技協会、JOC、J体協 ・競技に関する研究者 ・解説員、講演者 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツチームの運営/経営 ・起業（スポーツ関連） ・NPO（スポーツ関連） ・ビジネスマン（スポーツ関連業界） ・スポーツ関連の広告・広報 ・地域社会のスポーツ指導 など
非スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツドクター ・リハビリテーション ・コンディショニングトレーナー など 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業（一般ビジネス） ・弁護士会計士など士業 ・ビジネスマン（一般企業） など

まず **身近にいる方々から聞いてみては？**。人脈も広がる

例) スポンサー企業、用具メーカー、チーム運営関係者など

- ・ 職業理解と同時に **スポーツの価値、ビジネスの仕組み** を学べる
- ・ **支えられている大切さ、感謝** を再確認 → 競技の原動力に

42

今日の内容

1. デュアルキャリアとは？
2. 競技で培われる力とは？
3. 今の自分の力は？
4. デュアル成長を目指そう
5. 未来の職業をイメージしてみよう
6. ロードマップを描こう！

ここまで色々考えてきましたか？

競技、チーム活動



競技、チーム活動以外

今のこと
将来のこと

**自分らしい、理想の将来像と
実現シナリオを描こう！**

6. ロードマップを描こう 【個人ワーク】

12分

■私のロードマップ ★将来実現したい理想⇒逆算⇒大学時の目標、行動など

学生番号: _____ 氏名: _____

	2年次 (2025年度)				3年次 (2026年度)				4年次 (2027年度)				将来実現したいこと、姿
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
競技 チーム活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>付箋に記入、貼り付けて作成する</p> </div>												<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>対象に応じて一部アレンジ</p> </div>
競技 チーム活動以外 (学業・就職・進学など)													

別紙「私のロードマップ」

ワーク手順、例>

②実現するための中間目標、行動などを
沢山書き出し、繋げる

①自分の理想
(時期、内容)

	2年次 (2025年度)				3年次 (2026年度)				4年次 (2027年度)				将来実現したいこと、姿
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
競技、チーム活動	<p>国内トップレベルを目指し、着実に成長</p> <p>練習計画作り、振り返りに活用してみる</p>				<p>海外遠征のチャンスをつかむ</p> <p>海外のライバルと競い、更にレベルアップ</p> <p>選考会を突破する</p>				<p>2028年</p> <p>ロス五輪出場！</p>				
競技、チーム活動以外 (学業・就職・進学など)	<p>英語、コスキルが身につく授業を履修</p> <p>授業で積極的に話し掛けて友達を増やす</p> <p>OBOG、先輩、キャリアセンターの方から少しづつ話を聞く</p>				<p>就活の動きなど情報キャッチ</p> <p>出来る範囲でインターン参加 (オンライン中心になるかな)</p> <p>大会で海外選手に話しかけて友達作る 競技のヒント&人脈</p> <p>競技の隙間を縫って就活！(競技&将来海外勤務できるところ)</p>				<p>2035年</p> <p>引退後は海外でやりがいのある仕事をバリバリ ●いい家族と友達作る</p>				

③線で繋がったり、そのときの気持ち、大切なポイントなども自由に書き加える

①こんなことを成し遂げたい、生活を送りたい、人になりたい、等
単に「就職する」

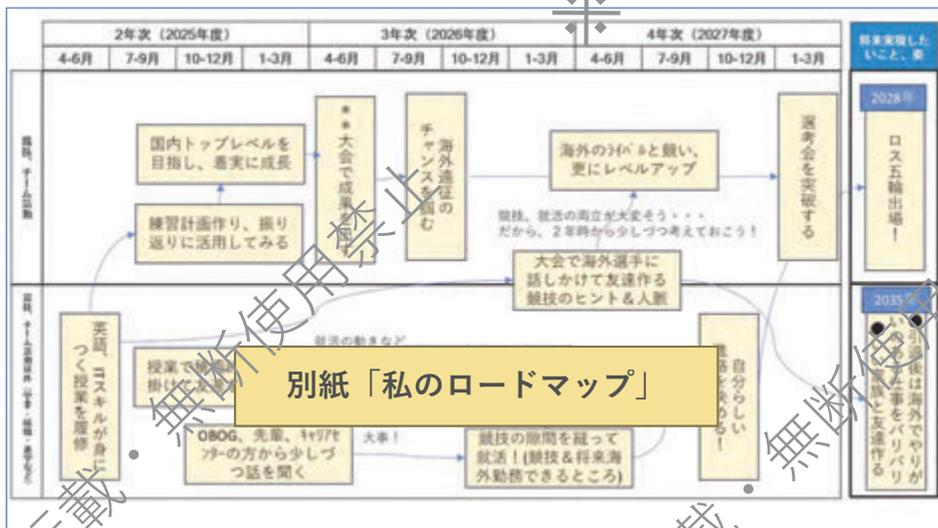
6. ロードマップを描こう 【グループワーク】

10分



描いたことを共有しましょう！（一人3分）

<聴き手>共感しながら発表を聴き、応援メッセージと拍手を
いいな、と思ったプランは是非取り入れよう！



47

まとめ 【アンケート入力】

4分



QRコードを読み込み、フォームに入力する

QRコード

【アンケートフォーム】

学び、気づき

- データ分析に活用
団体別、競技別傾向
競技レベルとの相関
同年代学生との非アスリートとの比較 など
- 継続ワークに活用
ACC面談で深掘り→成長への行動プラン作り
再セルフチェック→変化を見ながらワーク

	競技	競技以外	
リテラシー	情報収集力	3	2
	情報分析力	2	2
	課題発見力	2	2
	構想力	1	1
	【総合(平均)】	2.0	1.8
コンピテンシー	親和力	5	3
	協働力	4	2
	統率力	2	2
	感情制御力	5	3
	自信創出力	3	2
	行動持続力	3	3
	課題発見力	2	2
計画立案力	2	1	
実践力	2	2	
【総合(平均)】	3.1	2.2	

48

まとめ 【グループワーク】

5分



全体を通しての感想、気づきを共有しましょう。

※一人が話終わったら「**ありがとう**」の拍手を！

49

まとめ 【事後課題】**〆切*月*日**

一歩目の行動、
ACC伴走への接続

①私のロードマップ

各グループにいるACCとの個別面談で
相談しながら完成させる

→この後、日時を予約すること
(都合が悪くなったら再調整)



②社会人インタビュー

今日の参加者以外にも、
様々な職業に就いている、
ACC(アスリートキャリアコーディネーター)がいます。

- ・プロフィールを見ながら、興味のある人に面談を予約する
- ・仕事の話聞き、レポートを提出する

【社会人インタビューまとめシート】

- ・聞いたこと
- ・学び、気づきなど

【プロフィール入りACCリスト】

- ・競技歴(無しも含めて)
- ・これまでの職歴など

50

もう一度聞くよ。今の気持ちは？
どちらかというと・・・

【ポジティブ】

- ・アスリートだからこそチャンス！
- ・大変そうだからこそ燃える
- ・何を心掛ければいいのかな？
など

【ネガティブ】

- ・出来るの？
- ・時間、体力的にしんどい
- ・いつまで競技続けていいか不安
など

**競技以外のこと、先のことも考え、
取り組むことは、競技にもプラス！**

自分らしいデュアルキャリアを！

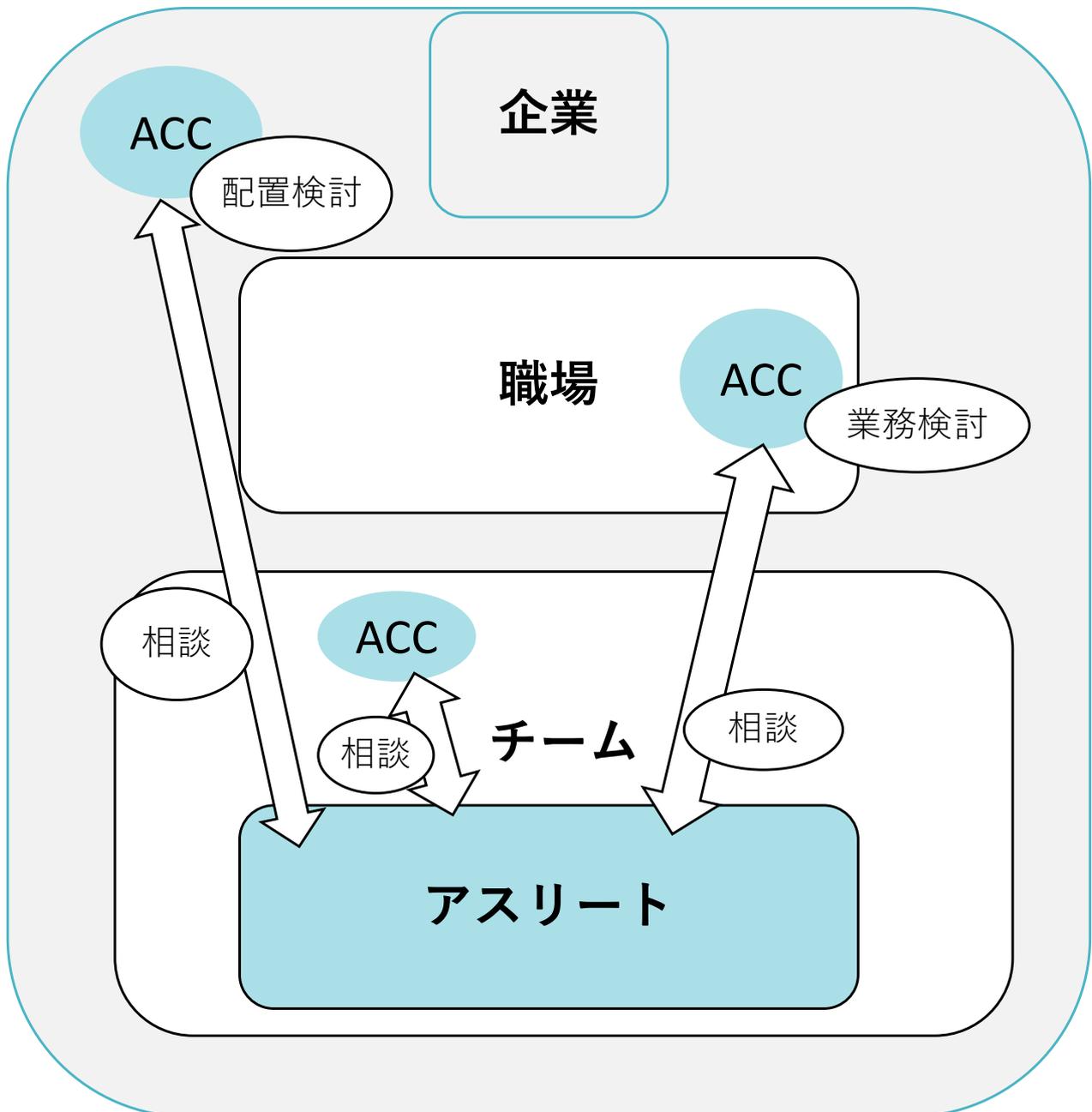
◎理想のACC配置（一例）

所属団体内・チーム内において、①現役時代から自己分析を含めたキャリア意識の醸成をサポートし②引退によるキャリアチェンジ後も新たな業務を円滑に行うためのサポート人材としてACCを置くべき。

※日常的にアスリートと接点を持ち、心理的安全性が担保できる人材をACCとして置く。

純粋な内部人材をACCとして育成・配置することはもちろん、外部のACCに委託することも想定。

【理想図】



＜ベーシックコース＞

1日目：11月5日（水）18:00～21:00	
第一部	
講師	高橋 義雄 氏 早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授
講義内容	1) 環境理解 アスリートキャリアの課題について、アスリートを取り巻く昨今の環境を理解する。 2) アスリートキャリアコーディネーター（ACC）の理解 ACCが必要とされた背景を知り、ACCの役割と実際の活動について理解する。 3) キャリア理論 理論や事例をもとに、終身雇用が保証されない今日の流動化した社会環境のなかで、アスリートのキャリアトランジションをどのように捉えるかについて考えを深める。
第二部	
講師	岡崎 美穂 氏 有限会社レジックスポーツ 代表取締役社長
講義内容	1) アスリート特有の課題 講師が行っている取組を交え、アスリートのキャリアトランジション特有のさまざまな課題について理解する

2日目：11月13日（木）18:00～21:00	
講師	川島 隆一 氏 川島事務所代表/GCDF-Japanキャリアカウンセラー
講義内容	1) ガイダンス・1日目振り返り グループワークで1日目の振り返りを実施 2) 社会人基礎力の概念理解 事前課題として出していた社会人基礎力テスト（PROG）の結果を見ながら診断テストのツールとしての理解を深める 3) ケーススタディ アスリートのテストのサンプリングデータおよびプロフィールデータ例を題材に支援計画を考える 4) 解説 ケーススタディの解説

3日目：11月17日（月）18:00～21:00	
講師	網野 千文 氏 特定非営利法人キャリアカウンセリング協会専任講師
講義内容	1) 対話の基本スキル ・相談を受けるときに最も大切な基本スキル「聴くこと」 ・相談者（アスリート）の視点と自分（ACC）の視点のギャップの理解 2) 実践トレーニング アスリート役とACC役に分かれ、アスリートの相談にのるトレーニングを実施 3) まとめ 3日目を通じた学びの整理 4) 全体まとめ ベーシックコースのまとめ

アスリートキャリアコーディネーター（ACC） 育成プログラム

Basicコース受講者募集

日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者の更新研修対象

1日目

11.5

水

2日目

11.13

木

3日目

11.17

月

全日程 18:00-21:00

受講料無料

オンライン開催

定員70名程度

申込期限

10月29日（水）12:00まで

受講者確定連絡

10月31日（金）予定

社会人基礎力WEB検査
受講期間

10月31日（金）～11月10日（月）

受講
条件

- ・全日程の受講が可能であること
- ・受講前に社会人基礎力に関するWEB検査を受検いただけること
- ※申込者から受講者を選定いたしますので、申込者全員が受講できるわけではありません
- ※SCSC加盟団体・競技団体等に所属されている方は優先対象となります

受講
対象

- ・スポーツチームの指導者・コーチ・トレーナー・スタッフ等運営に関わる方
- ・スポーツ関連団体のキャリア教育担当、アスリート・元アスリートでキャリア分野を勉強したい方
- ・キャリアコンサルタント等の有資格者でアスリートのキャリア支援に関心のある方
- ・企業のアスリート支援部署の方
- ・人材関連企業のキャリアアドバイス担当の方

など

※ACC認定後、実際に活動する意志・計画のある方が対象となります



Basicコース概要

※内容が一部変更になる可能性があります

1日目

①	環境理解	アスリートキャリアの課題について、アスリートを取り巻く昨今の環境を理解する
②	ACCの理解	ACCが必要とされた背景を知り、ACCの役割と実際の活動について理解する
③	キャリア理論	理論や事例をもとに、終身雇用が保証されない今日の流動化した社会環境のなかでアスリートのキャリア・トランジションをどのように捉えるかについて考えを深める
④	アスリート特有の課題	アスリートのキャリア・トランジション特有のさまざまな課題について理解する

2日目

①	アスリート理解	1日目の宿題である、自身の社会人基礎力テストの結果を見ながら診断テストのツールとしての理解を深める
②	社会人基礎力の概念理解	社会人基礎力の概念理解
③	ケーススタディ	アスリートのテストのサンプリングデータおよびプロフィールデータ例を題材に支援計画を考える
④	解説	ケース解説

3日目

①	対話の基本スキル	相談を受けるときに最も大切な基本スキル「聴くこと」 相談者（アスリート）の視点と自分（ACC）の視点のギャップの理解
②	実践トレーニング（相談場面のロールプレイ）	アスリート役とACC役に分かれ、アスリートの相談にのるトレーニングを実施
③	まとめ	3日目を通じた学びの整理
④	全体まとめ	Basicプログラムのまとめ

ACC認定までのフロー

Basicコース

1日目：11/5（水）
2日目：11/13（木）
3日目：11/17（月）

↓
修了課題提出

Advancedコース

昨年度までに
Basicコースを修了して
いる方も対象
1日目：12/4（木）
2日目：12/11（木）
3日目：12/18（木）

↓
認定課題提出



ACCに認定

<アドバンスドコース>

1日目:12月4日(木)18:00~21:00	
講師	川島 隆一 氏 川島事務所代表/GCDF-Japanキャリアカウンセラー
講義内容	1)「Can」(できそうなこと(経験や能力))視点の職業探 ・ケーススタディ(事前個人ワーク・グループワーク) ・全体共有+補足説明
	2)「Will」(やりたいこと(興味関心))を探る ・参加者自身のWillを探る(個人ワーク→グループワーク) ・全体共有+補足説明
	3)アスリートの取り組みをビジネスシーンに翻訳する ・実在アスリートにあてはめて考える(個人ワーク→グループワーク) ・全体共有+補足説明
	4)まとめ 1日目のまとめ

2日目:12月11日(木)18:00~21:00	
第一部	
ファシリテーター	田沼 泰輔 氏 株式会社ダイバビリティ総合研究所 代表取締役所長
第一部	
講師	諏訪部 彩 氏 株式会社アイトカム 代表取締役社長
講義内容	アスリートとしてのキャリアトランジションの実例
第二部	
講師	藤生 喜代美 氏 早稲田大学本庄高等学院 保健体育教諭
講義内容	指導者としてのキャリア支援の実例
第三部	
講師	松浦 康子 氏 本田技研工業株式会社 スポーツプロモーション部 部長
講義内容	企業・雇用側のアスリートキャリア支援事例

3日目:12月18日(木)18:00~21:00	
講師①	八田 茂 氏 株式会社ジャパンアスリートキャリアサポートセンター 代表取締役社長
講師②	坂田 賢二 氏 埼玉西武ライオンズ カルチャーデザイナー兼人財開発担当
講義内容	1) 集団へのファシリテーション 自分の所属するチーム・団体等への啓蒙活動
	2) ネットワーク形成と連携 ・企業人事・経営者とのネットワークの作り方 ・人材社会との連携方法
	3) まとめ ・自分自身のキャリアステップ ・継続学習の重要性

アスリートキャリアコーディネーター（ACC） 育成プログラム

Advancedコース受講者募集

日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者の更新研修対象

1日目

2日目

3日目

12.4 木

12.11 木

12.18 木

全日程 18:00-21:00

受講料無料

オンライン開催

申込期限

11月26日（水）12:00まで

受講者確定連絡

11月28日（金）予定

受講条件

- ・全日程の受講が可能であること
 - ・令和2年度～令和7年度ACC育成プログラム・ベーシックコースを修了していること（受講修了見込み段階での申込は可能です）
- ※アーカイブの配信はございません
※場合によっては申込をいただいても受講をご遠慮いただく場合がございますのでご了承ください

本研修の参加により、公益社団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになります

ただし、次の資格については更新研修を修了したことはありません

水泳／サッカー／スキー・スノーボード／テニス／バスケットボール／バドミントン／ライフル射撃（スタートコーチのみ）／剣道／空手道／バウンドテニス／エアロビク（コーチ4のみ）／チャリディング（コーチ3のみ）／スクーバ・ダイビング／プロゴルフ／プロテニス／プロスキー／オリエンテーリング／スポーツドクター／スポーツデンティスト／アスレティックトレーナー／スポーツ栄養士／クラブマネージャー

※公認スポーツ指導者資格の更新研修の詳細は公益社団法人日本スポーツ協会のホームページにてご確認ください



Advancedコース概要

※内容が一部変更になる可能性があります

1日目

①	「Can」視点の職業探索を体感する	ケーススタディ（事前個人ワーク・グループワーク） 全体共有 補足説明
②	「Will」を探る	参加者自身のWillを探る（個人ワーク→グループワーク） 全体共有 補足説明
③	アスリートの取り組みをビジネスシーンに翻訳する	実在アスリートのあてはめる（個人ワーク→グループワーク） 全体共有 補足説明
④	まとめ	

2日目

①	アスリート理解	アスリートとしてのキャリアトランジションの実例
②	指導者視点	指導者としてのキャリア支援の実例
③	企業視点	企業・雇用側のアスリートキャリア支援事例
④	まとめ	ACCとしての支援ポイント

3日目

①	集団へのファシリテーション	自分の所属するチーム・団体等への啓蒙活動
②	ネットワーク形成と連携	企業人事・経営者とのネットワークの作り方 人材社会との連携方法
③	まとめ	自分自身のキャリアステップ 継続学習の重要性
④	最終課題	課題発表

ACC認定までのフロー

Basicコース（R7年）

1日目：11/5（水）
2日目：11/13（木）
3日目：11/17（月）

↓
修了課題提出

Advancedコース

昨年度までに
Basicコースを修了して
いる方も対象
1日目：12/4（木）
2日目：12/11（木）
3日目：12/18（木）

↓
認定課題提出



ACCに認定